

1 2017年4月14日 佐久市八幡（ヤワタ）の八幡（ハチマン）神社で、原算額のレプリカ（写真複製）が、新たに掲額（中村信弥氏の報告による）

この情報は関口哲男先生からの情報であり、関口先生と一緒に確認してきました。

- ① 掲額の期日 春の大祭日（平成29年4月14日）
- ② 掲額場所 新築された社務所の軒下（いつでも見ることができる。）
- ③ 大きさ 199 cm×98.6 cm（新規作成額縁 10.8 cm） 原算額よりやや小さい。
- ④ 製作方法 写真技術による製作（天幕社の製作方法と同じ?）
- ⑤ 費用 写真4万円 +額4万円=計8万円
- ⑥ その他 写真であるから非常に鮮明である。反面、写真である上、軒下で風雨に晒されるため、どのくらい現状のまま保持できるか心配であるが不明とのこと。
今までと違う点は、氏子総代さんの家をさがし道場の鍵を開けていただかないと、算額を拝見できませんでしたが、今後はレプリカでよければいつでも拝見できる点です。

追加情報 5月29日 関口先生の手配で、見学。参加者（関口哲男、竹花卓、小林博隆）
総代長の成澤一成さんの案内で、見学できました。

- ・写真による複製、表面はラミネート加工、裏面はアルミ板。
- ・額縁は、大工さんのアイデアで新規作成。その結果、大変見栄えがする。
- ・作成は、氏子の総意。中仙道を歩く人からの問い合わせも数多く、それに対応しきれないという背景もあったという。作成業者は（有）佐久マイクロコンピューター。

**2 2017年4月17日 『松代藩の和算家・測量家 東福寺泰作』が発刊**

著者は、元長野工業高専教授山本行雄氏。信毎書籍出版センター刊。

「・・・本書では、幕末から明治にかけて、激動の時代の中で、算術や測量術を学び、それを仕事に活かし、藩士としても、名主としても懸命に働き、注目すべき業績を残した「東福寺泰作」の人生を追い、その生き方と業績、そして、当時の歴史の一端に触れることにします。・・・」（まえがきより抜粋）

3 2017年4月29日（土）鬼無里土倉の文珠堂 格天井に2枚の算額

きっかけは、上記の『松代藩の和算家・測量家 東福寺泰作』に山本氏が紹介。山本氏の発見は2015年11月である。鬼無里地区では松巖寺の天保10年奉納の算額が知られていたが、それ以外では初めての算額発見である。

算額1 寸法：約48cm×43cm

奉納年：明治11年8月 奉納者：大久保 勝星楠善吉

※ 寺島宗伴「門弟集」に、明治6年 大久保 楠善吉の名がある。

算額2 寸法：約43cm×43cm

奉納年：記載無し

奉納者：最上流 松原 樋口庫之輔古玩 門人 大久保 小林喜代治郎信美

※ 寺島宗伴「門弟集」に、明治10年 大久保 小林喜代次良の名がある。

※ 師匠の樋口庫之輔古玩は、寺島宗伴宛「学者誓詞之條々」に、万延申年（1860）5月日 松原 樋口庫之輔古玩とある。

解読結果を含め、詳細は「鬼無里土倉文珠堂の算額」（調査報告書：小林博隆）にまとめられた。これで、県内現存算額は76面、そして76面となった。



4 2017年6月6日（火）

事務局から、全会員に資料発送。〔会費納入依頼、第9期活動報告、第9期会計報告、第13回全国和算研究大会山形大会実施要項・参加申込書〕

5 2017年7月22日（土）野村恵智雄先生 お別れの会

野村先生は、本会設立発起人のお一人で、以来本研究会副会長を長らくお務め頂き本会の発展のためご尽力されました。本年5月8日ご逝去され、東京でご葬儀が執り行われました。このたび、安茂里正覚院で地元の方々とのお別れの会が執り行われました。和算研究会として弔電を差し上げました。

6 2017年8月19日（土）土倉文珠堂内陣調査

北原勲氏、内岩望氏による。内陣に興味深い絵馬が2面掲額されていることがわかった。



7 2017年8月20日（日）須坂市中央公民館にて市民総合大学で講演

北原勲氏 「須坂とその周辺の和算の歴史と魅力について」

この講演については、8月21日付信濃毎日新聞の第22面で紹介されました。

8 2017年8月22日（火）関東甲信静数学教育研究群馬大会で発表

伊藤栄一氏 「飯山市静観庵 静観観音堂の算額」

9 2018年2月10日（土）上田市立上田図書館にて講演会（主催は上田郷友会） 小

林博隆氏 「上田地域の和算家たち」

10 2018年6月 会報第26号発行

1 北原勲氏が「和算」について学ぶ市民講座（須坂市）で講演

2 永福寺算額複製記念講演会に参加して 小林博隆

3 第13回全国和算研究大会山形大会報告 田中秀明

附 第14回全国和算研究大会栃木県佐野市大会要綱

11 2018年9月24日（月）第13回幹事会 於坂城高校応接室 9:30～12:00

次第 1 会長挨拶

2 次年度以降の全国和算研究大会開催について

(1) 経過報告（田中、関口、嶋田）

(2) 主催受け入れの可否

2019 神奈川県開催で決定済み 2020 長野県で受け入れることは可能

(3) 受け入れの態勢づくり

和算研究会事務局とは別に、大会事務局を設けることとした

※ 開催場所としては、

県立歴史館との連携、塩尻総合教育センターとの連携、小諸地域で開催、というアイデアもあった。ここでは、第1案上田地域、第2案飯田地域（次々回開催場所候補）という方向でまとまった。

- 3 長野県和算研究会の活動について
 - (1) 役員体制について
従来通りとするが、第15回全国和算研究大会事務局を設け、関口哲男氏、竹花卓氏を充てる
 - (2) 総会、算額見学会について
2019年3月30日(土)10:00集合。鬼無里公民館を借用、土倉文珠堂算額を見学する。この時までに第15回全国大会の宿泊地、算額見学場所等を検討しておくこととした。(第14回大会で概要を周知できるように)
- 4 その他

12 2019年3月30日(土)第10回長野県和算研究会総会開催

於 鬼無里公民館を中心に 10:00~15:00

日程 10:00 集合(鬼無里ふるさと体験館駐車場)

10:30~11:15 土倉文珠堂算額の見学

12:00~ 昼食

13:00~15:00 第10回総会開催(長野市立鬼無里公民館)

総会次第

- 1 会長挨拶
- 2 第10期活動報告、会計報告
第11期活動案、役員体制等
- 3 ①2020年、第15回全国和算研究大会開催について
2019 神奈川県開催で決定済み 2020 長野県で受け入れる
②受け入れの態勢づくり
和算研究会事務局とは別に、大会事務局を設ける

● 長野県和算研究会会員による論文・図書の紹介(第10期分)

- 1 パズル絵画と詩文集 これ、なあに? 嶋田秀樹氏 2018.5.17

● 長野県和算研究会蔵の図書等の紹介(第10期分)

- 1 復刻 沼田敬忠 小学九数名義諺解 八島龍晴編 田中秀明氏寄贈

※ 記載漏れの活動報告・論文・図書等について、情報をお寄せ下さい。(事務局)